

令和 5 年 3 月 2 0 日 不採択

「安保 3 文書」閣議決定撤回を求める意見書の提出を求める請願について

(趣 旨)

昨年 1 2 月 1 6 日、岸田内閣は十分な審議もせず、国会に諮ることもなく、我が国の行く末に重大な影響を及ぼす「安保 3 文書」の改定を閣議決定した。これは戦争への道ではなかろうか。

我が国はさきの大戦の教訓として戦力不保持の平和憲法を制定した。百歩譲って自衛力の保持を認めたとしても、専守防衛に徹し、仮想敵国を持たずアジア重視の全方位外交を心がけてきた。防衛費も対 GDP 1%以内を守ってきた。

反撃能力（敵基地攻撃能力）保有はどの時点で反撃するのか判断がつきにくく、一歩間違えれば先制攻撃になりかねず、専守防衛を逸脱するばかりか、国際法違反にもなる。東アジアの緊張を高めることになる政策を止め、平和憲法にのっとった全方位外交を進めていただきたい。そのためにも反撃能力保有、軍事費拡大を明記した「安保 3 文書」改定の閣議決定を撤回していただきたい。日米同盟一辺倒を見直し、我が国の平和と安全を外交と対話により実現する政治を進めていただきたい。

記

(請願事項)

「安保 3 文書」閣議決定撤回を求める意見書を政府に提出していただきたい。